

～「安全」そして「安心」への取り組み～

## 大阪モノレール全駅に「可動式ホーム柵」を設置

大阪モノレールではお客さまに安心してご利用いただくため、2019年3月、千里中央駅に「可動式ホーム柵」を設置して以降、順次整備を進め、この度、2023年1月28日（土）の公園東口駅での使用開始をもちまして大阪モノレール全駅に設置が完了することとなりました。

可動式ホーム柵を設置することにより、ホームからの転落事故防止や列車との接触事故防止など、お客さまの安全性をより高めることができます。

現在、建設を進めております、門真市からの延伸区間においても、可動式ホーム柵の設置を予定しており、これからも大阪モノレールは、お客さまに「安全」そして「安心」にご利用いただけるよう取り組んでまいります。

<可動式ホーム柵>



【ニュースリリース配布先】 青灯クラブ・大阪府政記者会

【配信日時】 2023年1月24日14時

【お問い合わせ】

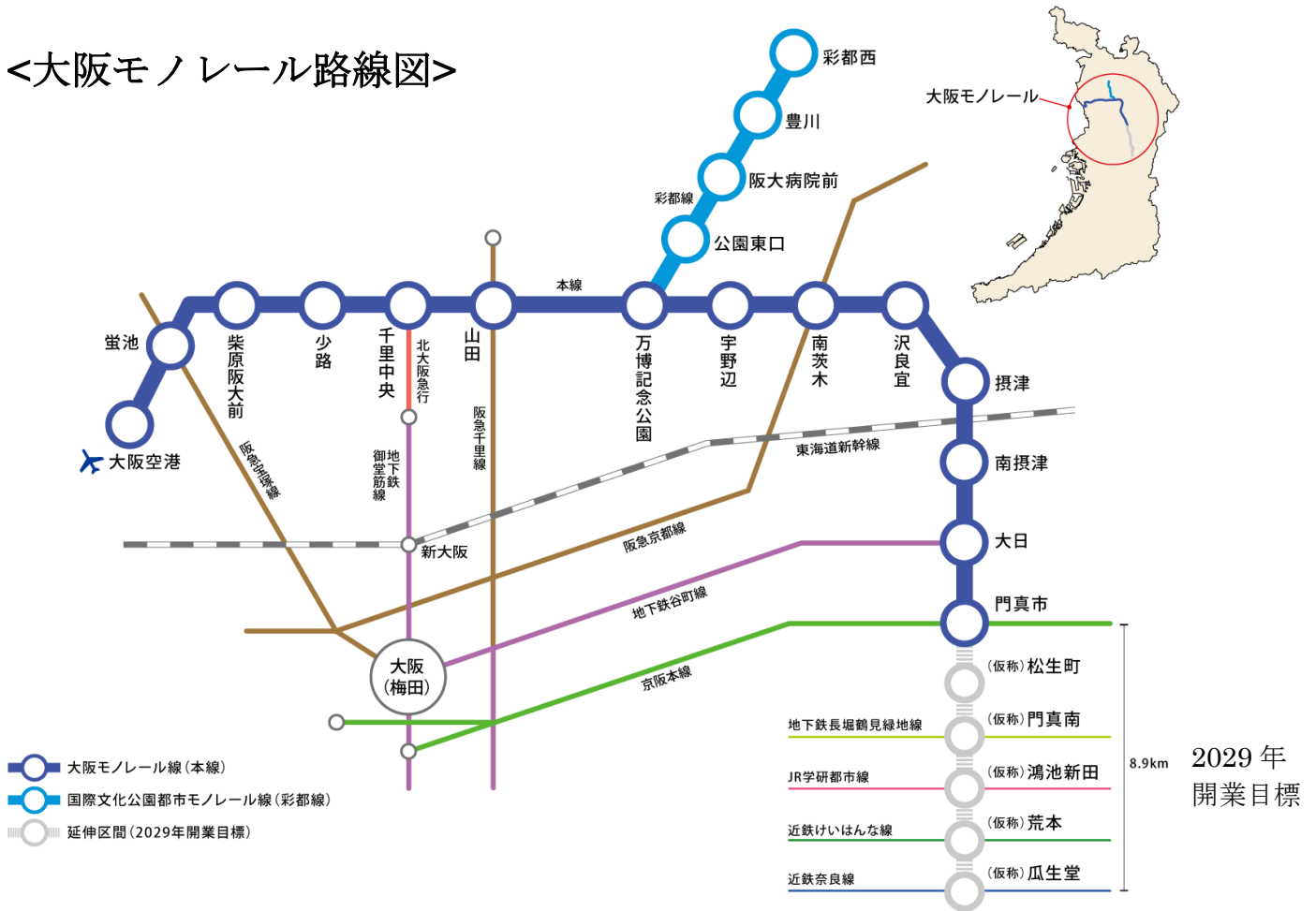
技術部施設課 豊田・内田 (工事、技術面に関すること)

TEL : 06-6875-5780 FAX : 06-6878-3679

総務部広報室 杉浦・川浦

TEL : 06-6319-9961 FAX : 06-6875-6302

# <大阪モノレール路線図>



(参考) 大阪モノレールの可動式ホーム柵

- ・腰高タイプの可動式ホーム柵（固定部：ホーム床面から約 1.35 メートル）
- ・開口部：幅約 2 メートル（車両側乗降口幅 1.3 メートル）
- ・可動式ホーム柵延長：約 70 メートル（プラットホーム 1 線あたり）  
※既存の固定柵とあわせ、プラットホーム全周に転落防止柵が設置完了
- ・プラットホーム上部に設置するセンサーにて、車両のドア開閉を検出、ホーム柵扉を連動開閉

- ・設置開始 2019年3月21日（千里中央駅 運用開始）
- ・全駅設置 2023年1月28日（公園東口駅 運用開始をもって）
- ・整備経過
 

2018年度	1駅	（千里中央）
2019年度	7駅	（門真市、南茨木、彩都西、蛸池、大阪空港、万博記念公園、山田）
2020年度	4駅	（宇野辺、少路、南天王、大日）
2021年度	3駅	（柴原阪大前、阪大病院前、天王寺）
2022年度	3駅	（沢良宜、豊川、公園東口）

- ・設置台数 全駅合計 304 台（列車乗降部 1 カ所を 1 台とする）
 

8カ所/プラットホーム	×2線/駅	× 17 駅	= 272 台	（万博記念公園駅除く）
8カ所/プラットホーム	×4線/駅	× 1 駅	= 32 台	（万博記念公園駅のみ、2面4線構造）